

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|------------------------|----|-------------|
| ○事業所名 | 多機能型事業所 こーず 放課後等デイサービス | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年 1月 16日 | | 令和7年 2月 9日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 14 | (回答者数) 13 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年 1月 16日 | | 令和7年 1月 27日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 3 | (回答者数) 3 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年 2月 12日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | <p>専門的な支援体制</p> <p>①人員体制の専門性(保育士・児童指導員)</p> <p>②専門プログラム(体操教室・ビジョントレーニング)</p> <p>③専門的支援としての特徴 (多職種連携、個別支援計画の具体化、成功体験の設計)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・感覚特性に配慮した環境設定 ・視覚支援の活用(スケジュール掲示など) ・活動の見通し提示 ・「叱る」より「予防する支援」 ・子どもの強みに着目 <p>※専門性の本質は特別なことではなく▶子どもの特性を理解し▶根拠を持って関わり▶継続的に評価・改善すること</p> | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>職員専門性向上(発達特性や支援方法について学び続けることで支援の質を高めています。支援は「経験」だけでなく、「根拠」に基づくことを大切にします) <input type="checkbox"/>ケース会議の充実(一人の視点ではなく、複数の専門職の視点を取り入れることでより適切な支援につなげます) <input type="checkbox"/>保護者さまとの連携強化(ご家庭と同じ方向を向きながら、お子さまの成長を支えています) <input type="checkbox"/>環境づくりの工夫 <input type="checkbox"/>個別支援の質の向上(「できること」を確実に増やしていく支援を積み重ねます) |
| 2 | <p>子どもに寄り添った支援</p> <p>①小さなサインを見逃さない</p> <p>②「困った行動」を「困っているサイン」と捉える</p> <p>③スモールステップの支援</p> <p>④安心できる関係づくり▶「信頼関係」</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・見通しを有する環境づくり ・感覚特性への配慮 ・スモールステップの設定 ・行動の背景を大切に支援 ・チームで支える体制 ・保護者さまとの連携 <p>※「その子らしさ」を尊重しながら成長につながる支援をこれからも丁寧に積み重ねていきます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>専門性の向上(知識や技術を更新し続けることで、根拠に基づいた支援を実践しています) <input type="checkbox"/>支援の振り返りと改善(支援は「立てて終わり」ではなく、振り返りと改善を繰り返すことで質を高めます) <input type="checkbox"/>プログラムの充実(子どもの発達段階やニーズに合わせ、活動内容を柔軟に見直します) <input type="checkbox"/>保護者支援の充実(ご家庭と協力しながら、お子さまの成長を支えています) <input type="checkbox"/>安心・安全な環境づくり(安心できる環境こそが、子どもの挑戦や成長を支える土台になると考えます) |
| 3 | <p>保護者さまと丁寧につながり続ける支援体制</p> <p>①支援の一貫性が生まれます</p> <p>②成長の変化を早期に共有できる</p> <p>③保護者の安心感が子どもにも伝わる</p> <p>子どもの成長は、事業所だけで完結するものではありません。ご家庭と同じ方向を向いて支援することが、何より大切だと考えます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・日々の丁寧な共有 ・相談しやすい関係づくり ・定期的な振り返りと見直し ・定期的な面談 ・家庭で活かせる具体的な提案 ・成長を「見える化」する工夫 <p>※保護者さまと同じ目線で子どもを見つめ、同じ方向を向いて支援を続けることを大切にしています。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>面談機会の充実(保護者さまの状況に合わせ、相談しやすい環境を整えています) <input type="checkbox"/>情報共有の質の向上(「様子」だけでなく、「成長の過程」が伝わる工夫をしています) <input type="checkbox"/>保護者向け学びの機会づくり(不安を減らし、理解を深められる場づくりを目指して行きます) <input type="checkbox"/>相談体制の強化(一人で抱え込まずに済む支援体制を整えています) |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|--|
| 1 | <p>地域との連携不足</p> <p>①地域行事への参加が少ない</p> <p>②他事業所や学校との情報交換の場が限定的</p> <p>③地域住民との交流機会が不足している</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・日々の支援業務への集中 ・連携の仕組みづくりの不足 ・地域資源の把握不足 ・役割意識の偏り | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>連携体制の明確化 <input type="checkbox"/>地域資源の把握と活用 <input type="checkbox"/>交流機会の創出 <input type="checkbox"/>情報発信の強化 <input type="checkbox"/>職員の意識づくり |
| 2 | <p>学校授業日の外出行事の実施不足</p> <p>①利用時間の制約</p> <p>②安全管理への配慮</p> <p>③日課の安定性の優先</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・利用時間の制約 ・安全管理への配慮 ・人員配置の課題 ・計画的な位置づけの不足 ・疲労への配慮を優先 | <p>外出活動の価値を踏まえ、今後は時間や体制を工夫しながら、無理のない形で充実を図る必要があると考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>短時間・近距離での外出企画 <input type="checkbox"/>明確な目的設定 <input type="checkbox"/>安全管理体制の強化 <input type="checkbox"/>年間計画への明確な位置づけ <input type="checkbox"/>子どもの状態への配慮 |
| 3 | <p>支援プログラムの年間計画不足</p> <p>①日々の個別対応を優先してきた</p> <p>②行事中心の計画構成</p> <p>③プログラムの見える化不足</p> | <p>支援プログラムの年間計画が十分に体系化されていない点を課題として認識している。また、支援に重点を置いているが、地域支援・連携に関する情報収集や取組みが不足しており、年間計画として立案していない。</p> | <p>日々の柔軟な個別支援を大切にしながらも、年間を通じた計画性を強化することで、より一貫性と継続性のある支援を実現します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>発達領域ごとの年間目標設定 <input type="checkbox"/>月別テーマの明確化 <input type="checkbox"/>PDCAサイクルの確立 <input type="checkbox"/>文書化・見える化の推進 <input type="checkbox"/>保護者への共有 |